

中小印刷業でも可能な環境経営の実践と、ISO14001認証取得のためのステップ「エコステージ」

(株)KAZコンサルティング 鈴木 和男

環境経営の重要性とEMS

最近、皆様の印刷業界は勿論、ソフト・サービス業などすべての業界で環境経営の重要性が叫ばれたり、取引先から環境アンケートを求められたり、グリーン調達条件として環境マネジメントシステム（Environmental Management System: EMS）の構築を求められるケースが増えています。

環境経営とは、従来の品質の側面・コストの側面・安全の側面等に加えて、環境の側面（観点）から見た経営を行うことです。すなわち、新たな環境ビジネスを行うことが環境経営ではなく、今のビジネスを行う場合に、環境に配慮した経営を行うことです。

コストや品質の側面からのみでなく、環境の側面から活動・製品・サービスを考えると、新たな課題や問題点が見えてきます。グリーン購入ネットワークが毎年実施している顧客調査では、「10%程度高くても、環境にやさしい方を選ぶ」と答える人が、年々増加し、環境意識も大変高まってきており、地球環境のためと言えれば顧客が理解してくれる時代なのです。

国際環境規格ISO14001審査登録制度は、第3者の目で評価されるEMS（透明性のあるマネジメントシステム）であり信頼性も高いので、全ての企業・組織にISO14001を取得してもらおうのが理想的といえます。しかし、日本の企業数が数百万社であるのに対して、日本でのISO14001の認証取得件数は2004年6月現在、約17,000件（企業数では、1万社以下）と大部分の企業が未取得であるのが現実です。

中小企業のISOの認証取得を妨げている要因の一つに、「取得・維持費用」があります。取得のためのコンサルタントや認証機関への数百

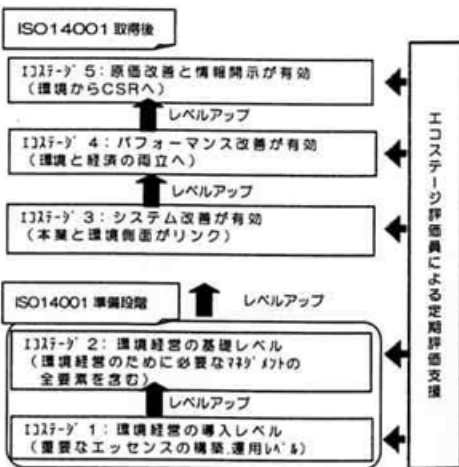
万円の支払いや、審査登録維持のために認証機関に毎年50万～100万円を支払うことは、中小企業にとって大きな負担といえるでしょう。

また、ISO14001の認証取得・維持は大変難しいという印象を持ち、最初からISO14001の認証取得は無理だとあきらめてしまう企業も多いようです。

ISO14001を補完し基礎的なEMSの要求事項を足掛かりに、組織の大小にかかわらず、すべての企業が継続的な環境保全活動を始められるように開発された環境経営評価・支援制度が「エコステージ」となって誕生したのです。

「エコステージ」は、「安く・簡単・効果的」を武器にISO14001認証登録への足掛かりとして、またISO14001認証取得後の環境経営展開へのレベルアップ、更にはCSR（Corporate Social Responsibility: 企業の社会的責任）へのロードマップとしても活用できる日本独自の自己発展型環境マネジメントシステムなのです

図1 エコステージの5つのレベル



(図1参照)。

04年12月末現在、「エコステージ」は、下記の様な企業・組織から支持され、グリーン調達の条件として、あるいは自社及び関連企業への取得推進など急激に普及してきています。

①グリーン調達ガイドラインで、「エコステージ」認証を明確にしている主な企業・組織

(株)デンソー、NTN株、富士ゼロックス株、(株)日立製作所、富士写真フイルム株、(株)リコー、キヤノン株、日本電気株、富士通（株）、バイオニア株、(株)デュプロ、(株)豊田自動織機、(株)ボッシュオートモーティブシステム、リケンテクノス株。

②「エコステージ」認証取得を社内または、関連企業に展開中の主な企業・組織

(株)カリッ、富士フイルムロジスティクス株、(株)日本航空ジャパン、ソニーファシリティマネジメント株、(株)富士ゼロックス総合教育研究所、TDKテクノ株、中小企業診断協会東京支部。

③「エコステージ」に賛同いただき、普及、推進・支援をいただいている主な企業・組織

東京都環境局、(株)日本建設業団体連合会、(株)日本印刷技術協会、さいたま商工会議所、平塚商工会議所、(株)UFJ総合研究所、東京急行電鉄株、中央青山監査法人、NPO日本環境倶楽部、NPO超微細化学システム技術研究協会、学校法人湖南学園、東京大学環境三四郎、早稲田大学環境ロドリゲス。

環境認証取得のための新たな手段

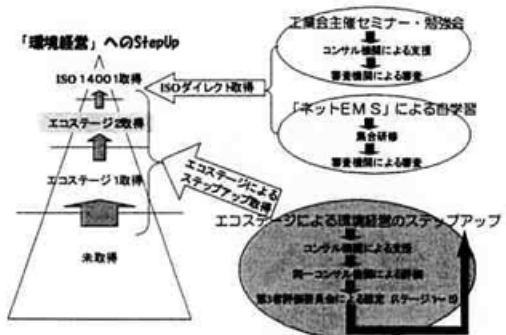
貴工業会は、他業界に先駆けISO14001の認証取得を会員各社へ推進されてきました。

そして、10数社が認証取得をされました。しかし、もっと多くの会員の皆様が取得され、業界あげての地球環境保全の取組と、各企業が社会の一員としての企業責任を果たす必要があるのではないのでしょうか。

最初から、一気に富士山の頂上「ISO14001」

を目指すのではなく、とりあえず5合目「エコステージ1」まで登り、少し高度の空気にも慣れ、更に、9合目「エコステージ2」に挑戦する。そして、頂上「ISO14001」に到達することの方が、最初から重い荷物（解らないうちから、多くの文章の作成や、仕組みづくりなどなど）を担ぐよりは、むしろ早く、安価に、無理なく、確実に、そして皆様の企業に本当に役立つ環境経営システムが構築できるのです。（図2参照）ちなみに「エコステージ1」構築のための費用は、30人以下の企業の場合、コンサル及び評価の合計で最低50万円程度から高くても80万円程度で認証取得可能です。

図2 ISO14001取得への新たな手段



おわりに

紙面上の都合もあり「エコステージ」とは何かについて駆け足で触れてきましたが、その概要はある程度はご理解頂けたものと思います。「エコステージ」に興味を持たれた多くの皆様が下記のホームページを訪れることを願う次第です。

●記事及び「エコステージ」に関するお問合せ
株式会社KAZコンサルティング

Tel : 03-3341-6481

kaz.suzuki@kazconsul.jp

http://www.kazconsul.jp

または、有限責任中間法人 エコステージ協会

http://www.ecostage.org/